



株式会社三陽荘 SDGs宣言

当社は、「ゆったりとした非日常空間の提供」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月28日

株式会社三陽荘

代表取締役 廣瀬 純一郎



重点項目(ターゲット2030)

自然環境保護への取組み

土佐の豊かな自然のなかで、ゆったり過ごす特別な時間を提供できるよう、土佐湾をはじめとする自然環境の保護に取り組みます。

【主な取組み】

電気及びボイラー使用量の把握と削減目標の進捗管理、水使用削減目標の進捗管理、紙ストローの採用、客室及び大浴場のアメニティ類の廃止



働きがいのある職場づくり

従業員一人ひとりの個性を尊重し、風通しのよい職場環境を整備します。また、人材育成を通じて従業員の接客技術向上に努め、お客様へより良いサービスを提供いたします。

【主な取組み】

ハラスメントに関するルールの明確化、長時間労働の是正とサービス残業0の徹底、定期的な面談による従業員の意見把握、外部研修への参加



ガバナンスの強化

すべての従業員に社内ルールを周知し、コーポレートガバナンスの強化やリスクマネジメントに取り組みます。健全な経営活動により、信頼される企業を目指します。

【主な取組み】

職務権限規程の策定、リスクマネジメントマニュアルの策定、公正な取引の遵守



地域社会への貢献

八十八カ所巡りの遍路宿として地域社会と積極的にコミュニケーションをとり、密接に連携することで地域の課題解決に取り組みます。地域と共に持続可能な発展を目指します。

【主な取組み】

地産地消の実践、災害時の協力事項策定、定期的な防災訓練の実施、ビーチクリーン清掃活動への参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。